

出願書類

○は必須、△は必要に応じて提出する書類

	書 類	第 一 次 募 集	第 二 次 募 集	連 携 型 選 抜	社 会 人 特 別	全 国 募 集 選 抜	通 信 制 課 程	備 考
志 願 者	入学願書及び写真票	○	○	○	○	○	○	宮城県収入証紙、仙台市納入通知書兼領収書 又は石巻市納入通知書兼領収証書貼付
	志願理由書	—	—	—	—	○	—	全国募集選抜用の様式
	志願理由書	—	—	—	—	—	○	美田園高等学校で定める様式
	推薦書	—	—	—	○	—	—	社会人特別選抜志願者の所属長等が作成
	受験票等送付用封筒	—	—	—	○ ※	—	△	長形3号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切 手貼付）住所、志願者氏名等を明記
	結果通知用封筒	—	—	—	○ ※	—	○	角形2号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切 手貼付）住所、志願者氏名等を明記
中 学 校 長	調査書	○	○	○	○	○	○	
	出願者一覧表	○	○	○	—	○	—	
	受験票等送付用封筒	△ 角 2	△ 長 3	△ 角 2	—	△ 角 2	—	角形2号封筒又は長形3号封筒（簡易書留速 達郵便料金分の切手貼付）住所、中学校長名 等を明記
	結果通知用封筒	△	△	○	—	△	—	角形2号封筒（簡易書留速達郵便料金分の切 手貼付）住所、中学校長名等を明記

※ 社会人特別選抜の出願においては、受験票等送付用封筒、結果通知用封筒を各2枚準備し、宛名はそれぞれ所属長等及び中学校長とする。

※ 県外からの出願及び全国募集選抜の出願においては、宮城県公立高等学校出願承認書の写しを同封すること。

【参考】郵便料金

基本料金			速達	簡易書留	合計
定形郵便物	25g以内	84円	260円 (250gまで)	350円	694円
	50g以内	94円			704円
定形外郵便物	50g以内	120円			730円
	100g以内	140円			750円
	150g以内	210円			820円
	250g以内	250円			860円

(例1) 角形2号封筒 ……約 25g
 受験票 (10枚) ……約 25g
 A4判普通紙 (10枚) ……約 55g 計 約105g → 簡易書留速達料金 820円

(例2) 長形3号封筒 ……約 10g
 受験票 (20枚) ……約 50g
 A4判普通紙 (20枚) ……約110g 計 約170g → 簡易書留速達料金 860円

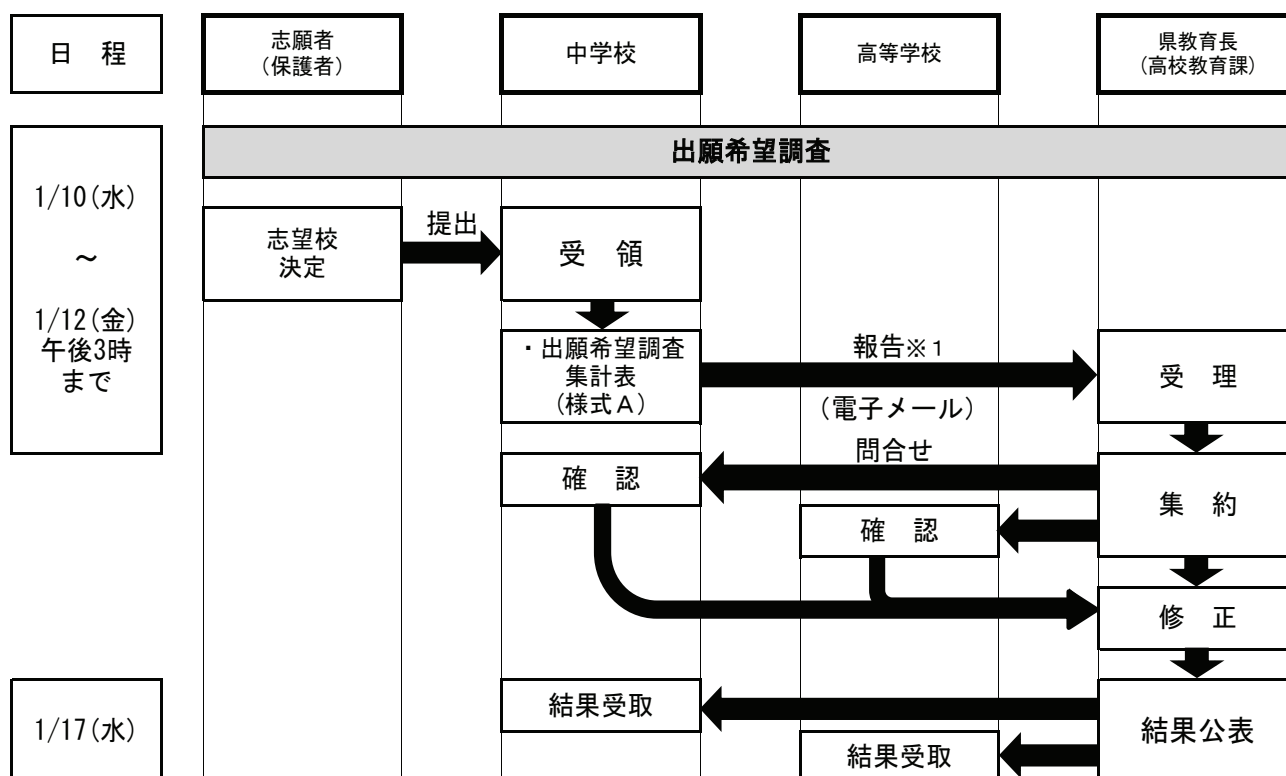
【入試のフロー図（概要）】

◆入学者選抜事務説明会

（中学校の進路指導担当者及び高等学校の入学者選抜事務担当者）

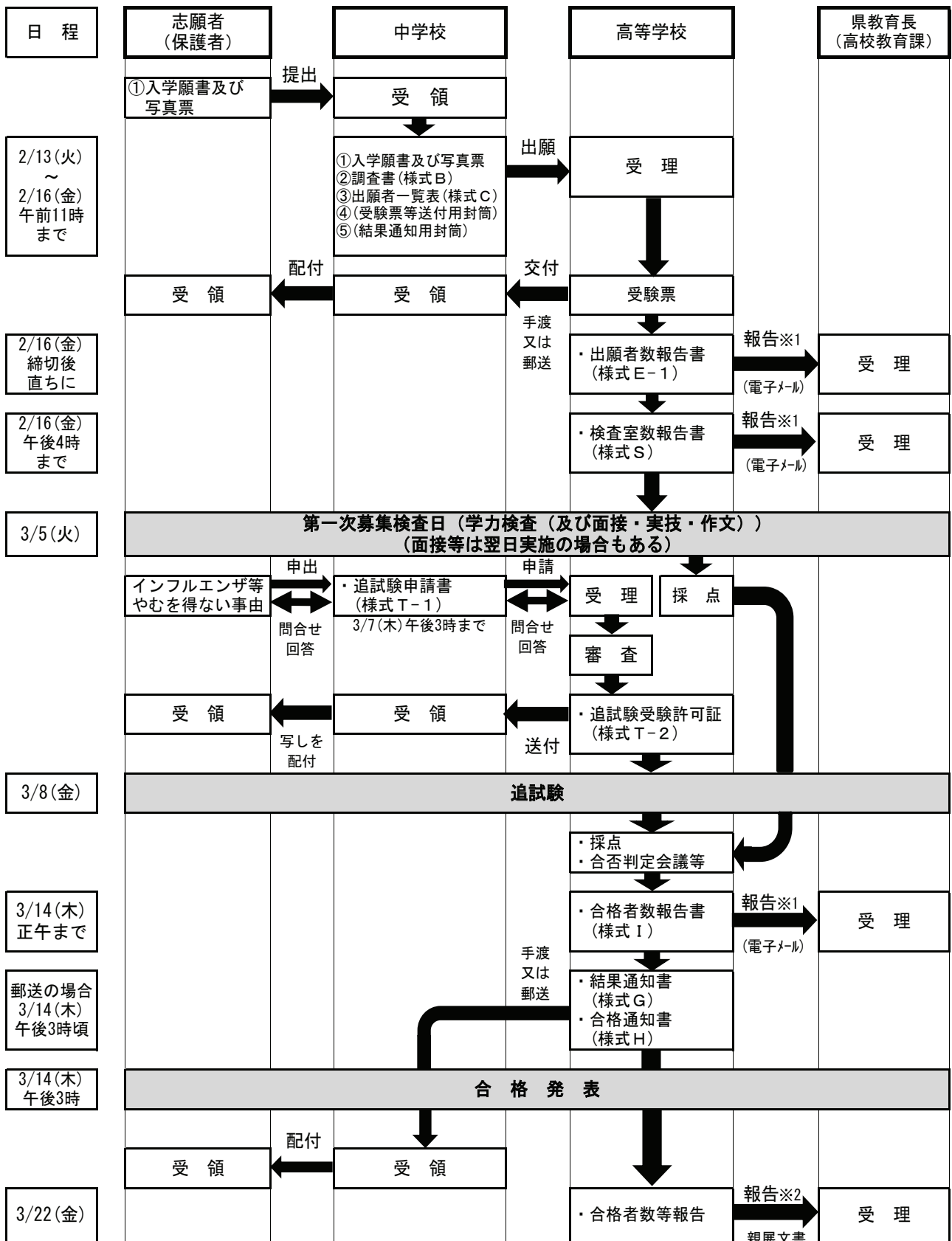
地区	要項等説明の対象となる学校		開催日	会場
	中学校（管内）	高等学校（地区）		
中部北	仙台市教育委員会 仙台教育事務所	仙台北 塩釜 黒川	9月29日（金）	仙台市教育センター
中部南	仙台市教育委員会 仙台教育事務所 県立中学校	仙台南 亙理名取	9月29日（金）	
北部	北部教育事務所 県立中学校	大崎 遠田 栗原	10月 2日（月）	大崎合同庁舎
東部	石巻市教育委員会 東部教育事務所 （登米市立中学校を除く）	石巻	10月 3日（火）	河北総合センタービッグバン
南部	大河原教育事務所	刈田柴田 伊具	10月 4日（水）	大河原合同庁舎
登米・ 気仙沼	東部教育事務所 （登米市立中学校） 気仙沼教育事務所	登米 本吉	10月 5日（木）	登米合同庁舎

◆出願希望調査の流れ



※1 仙台市立中学校にあっては、仙台市教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

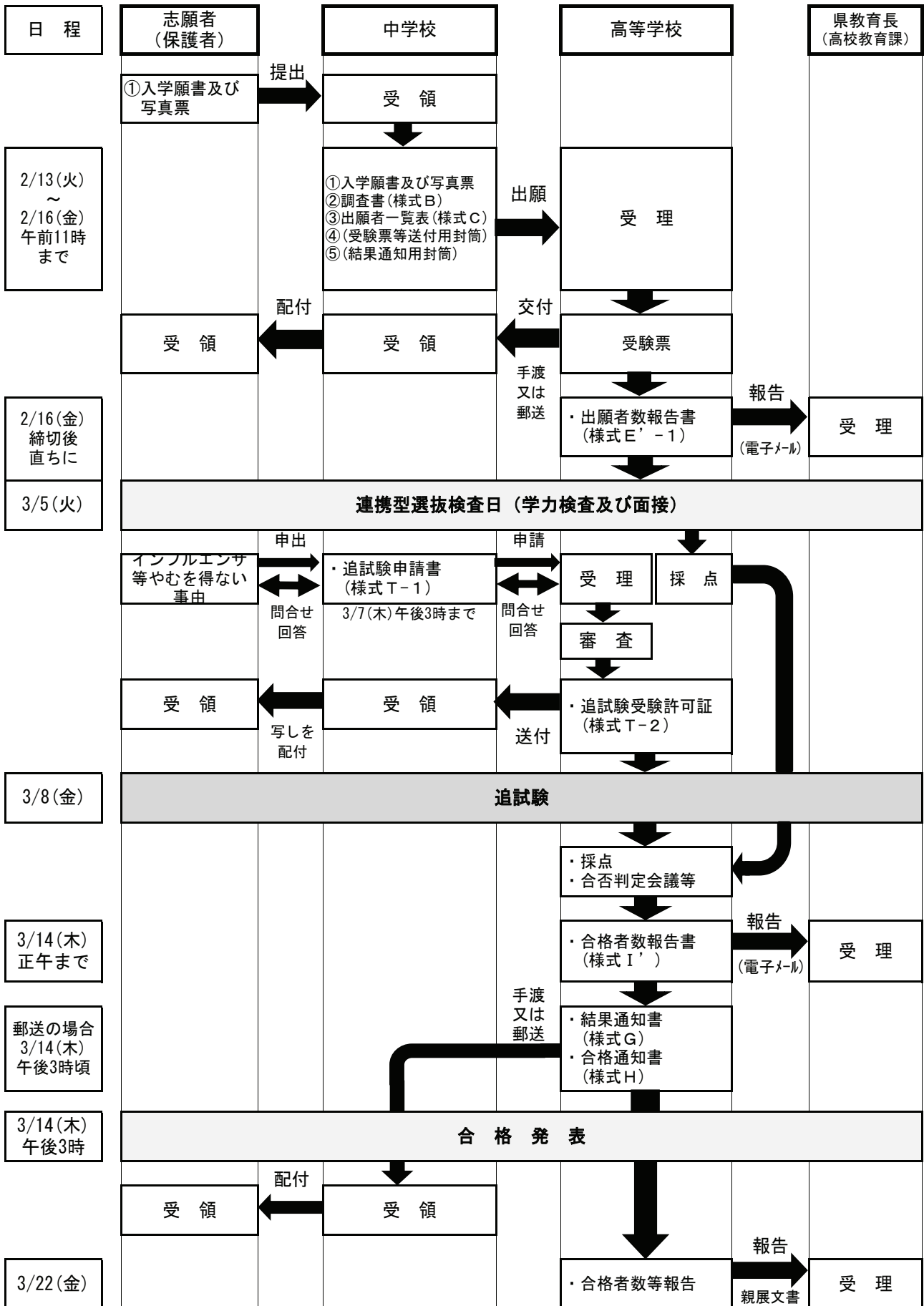
◆第一次募集の流れ



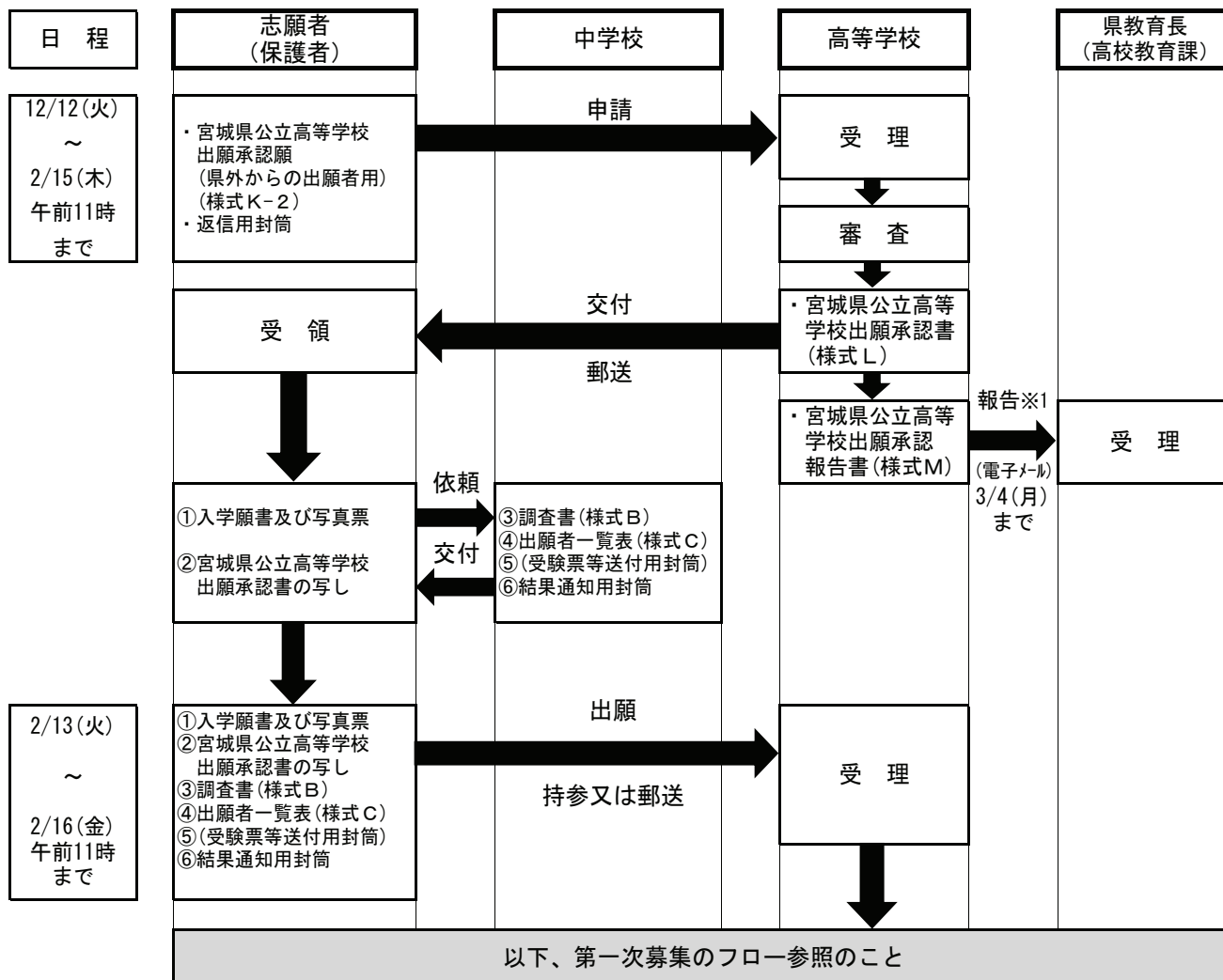
※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

※2 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長へも報告する。

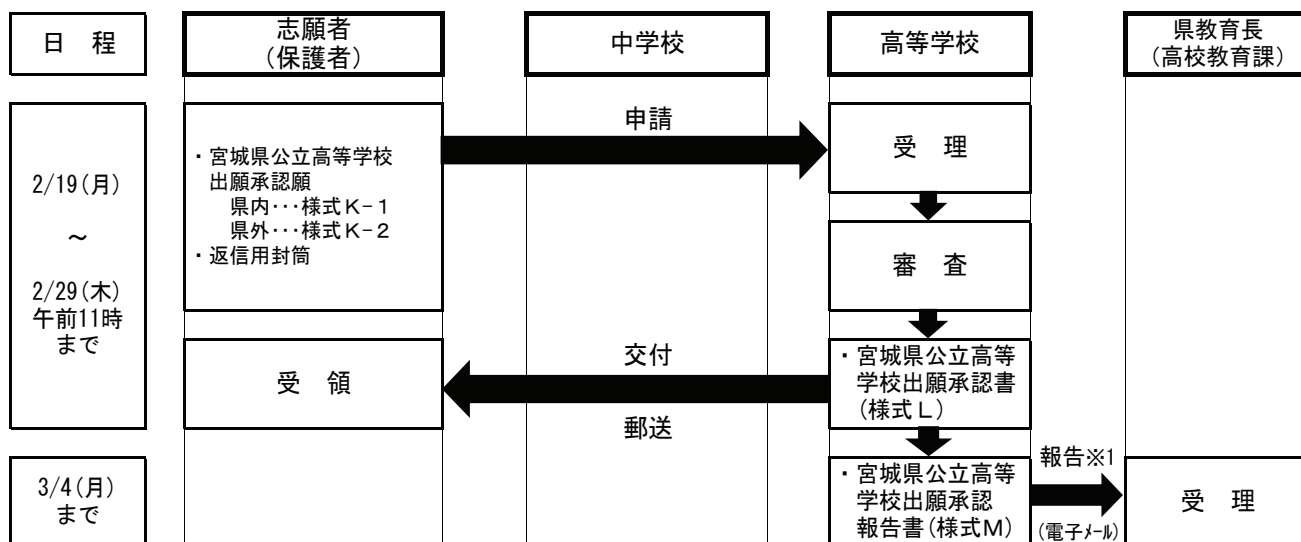
◆連携型選抜の流れ



◆県外からの出願の流れ

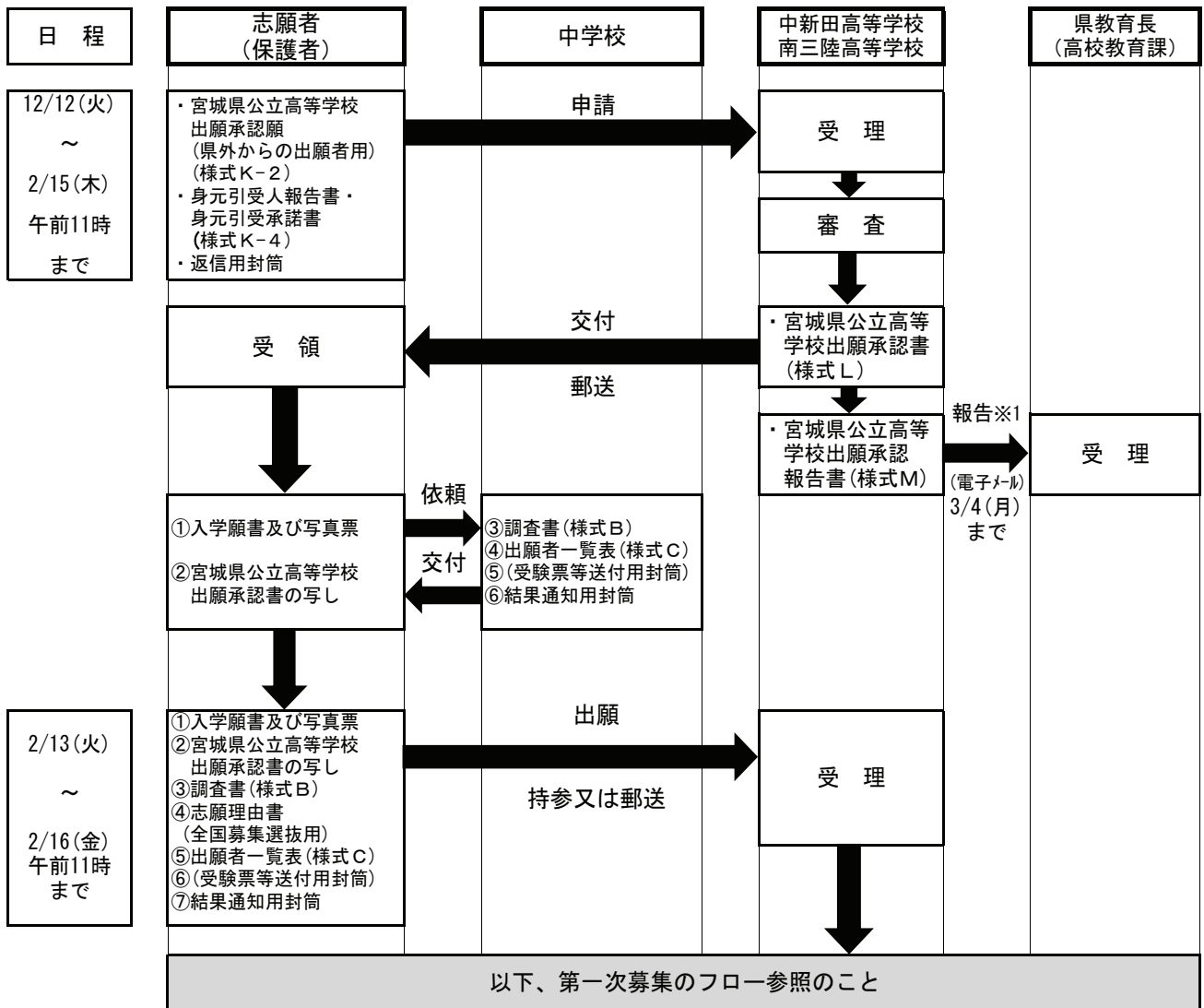


◆特例措置の流れ (第一次募集)

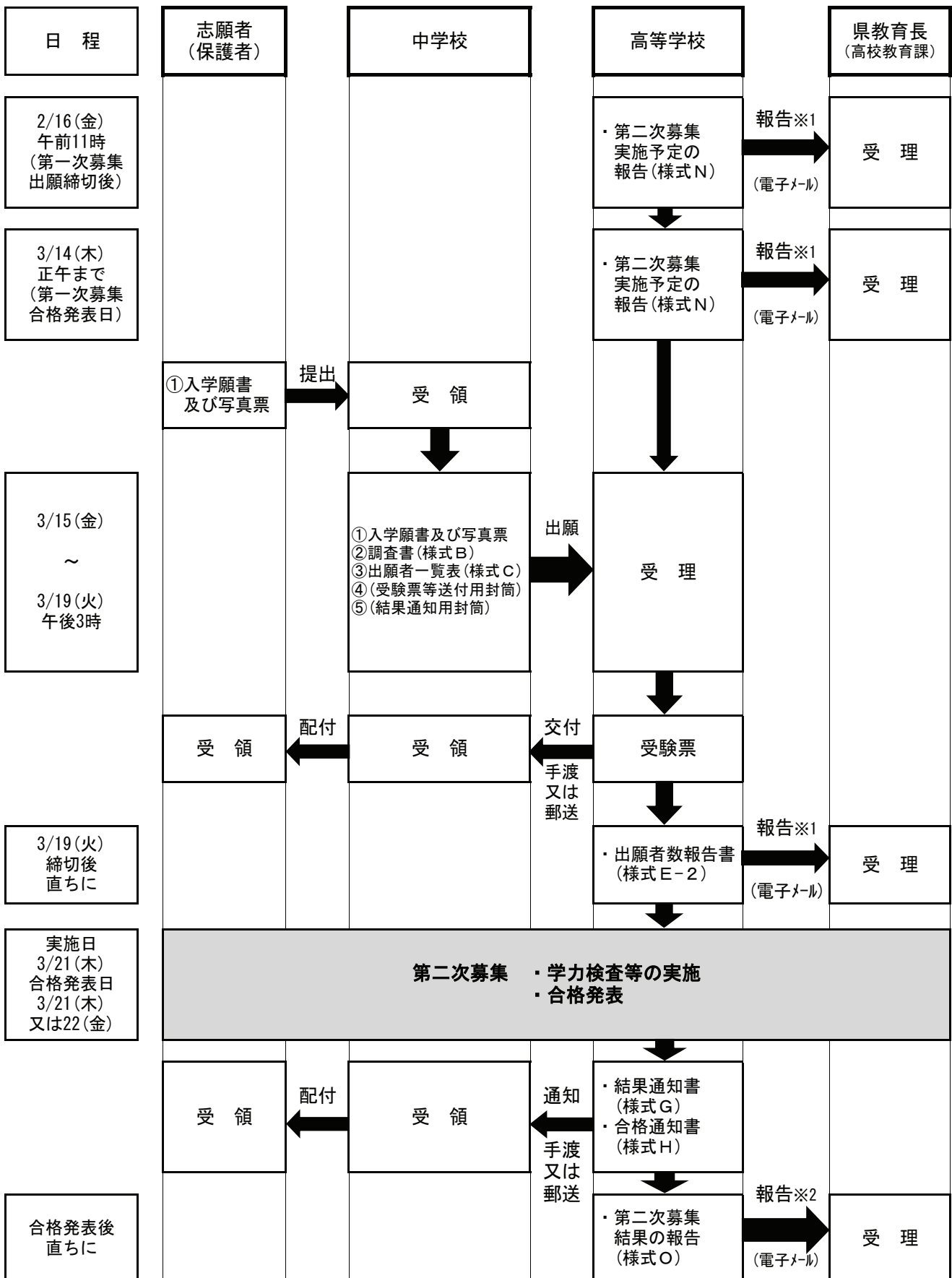


※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

◆全国募集選抜の出願の流れ



◆第二次募集の流れ



※1 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。
 ※2 市立高等学校にあっては、所属教育委員会教育長へも報告する。

地区処理委員会

- 1 公立高等学校入学者選抜に係る事務を円滑に処理するため、地区処理委員会を下記の表のとおり設置する。
- 2 地区処理委員会は、次の事項を処理する。
 - (1) 県教育庁、各高等学校及び各中学校との連絡
 - (2) 学力検査問題等の受領、保管及び配付
 - (3) その他選抜事務に関する必要な事項
- 3 地区処理委員会は、各地区内の公立高等学校長をもって構成する。
- 4 地区処理委員会の事務局を、下表のとおり、各地区の高等学校に置く。
- 5 地区処理委員会の委員長は、事務局所在の高等学校長とする。

地 区 処 理 委 員 会		事務局校
刈田柴田地区	白石、蔵王、白石工業、村田、大河原産業、柴田、柴田農林川崎	白石 7
伊具地区	角田、伊具	角田 2
亘理名取地区	名取、名取北、亘理、農業	名取 4
仙台南地区	仙台一、仙台二華、仙台三桜、仙台向山、仙台南、仙台西、仙台東、工業、第二工業、仙台工業※、仙台大志※	仙台一 11
仙台北地区	仙台二、仙台三、宮城一、宮城広瀬、泉、泉松陵、泉館山、宮城野、仙台※、仙台商業※	仙台二 10
塩釜地区	塩釜、多賀城、松島、利府、貞山	塩釜 5
黒川地区	黒川、富谷	黒川 2
大崎地区	古川、古川黎明、岩出山、中新田、松山、加美農業、古川工業、鹿島台商業	古川 8
遠田地区	涌谷、小牛田農林、南郷、田尻さくら	涌谷 4
登米地区	佐沼、登米、登米総合産業	佐沼 3
栗原地区	築館、岩ヶ崎、迫桜、一迫商業	築館 4
石巻地区	石巻、石巻好文館、石巻西、石巻北、水産、石巻工業、石巻商業、東松島、桜坂※	石巻 9
本吉地区	気仙沼、南三陸、本吉響、気仙沼向洋	気仙沼 4

※は市立高等学校

各種様式一覧

※ 電子データで報告する様式については、後日送付する様式を参考に作成すること。

事項	本文ページ	参照ページ		書類名	報告者又は送付者	経由等	最終報告先又は送付先	締切日等	
		記号	ページ						
出願希望調査の集計	6	A	49	出願希望調査集計表	中学校長	仙台市立中学校にあっては仙台市教育委員会教育長	県教育庁 高校教育課長	1月12日(金) 午後3時	
第一次募集	第一次募集出願手続	8	願書	65	入学願書及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	8	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	8	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	追試験受験申請	11	T-1	63	追試験申請書	中学校長		高等学校長	3月7日(木) 午後3時
	追試験受験許可	11	T-2	64	追試験受験許可証	高等学校長		中学校長	受理後速やかに
	第一次募集結果通知	12	G	53	第一次募集結果通知書	高等学校長		中学校長	3月14日(木) 午後3時
"	12	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
第二次募集	第二次募集出願手続	15	願書	65	入学願書及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	3月19日(火) 午後3時
	"	16	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	16	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	第二次募集結果通知	17	G	53	第二次募集結果通知書	高等学校長		中学校長	合格発表後 速やかに
	"	17	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者	
連携型選抜	連携型選抜出願手続	18	願書	67	入学願書(連携型選抜)及び写真票	志願者	中学校長	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	18	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	18	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	連携型選抜結果通知	20	G	53	連携型選抜結果通知書	高等学校長		中学校長	3月14日(木) 午後3時
"	20	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
社会人特別選抜	社会人特別選抜出願手続	21	願書	65	入学願書及び写真票	志願者	所属長等	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	22	J	55	社会人特別選抜推薦書	所属長等		高等学校長	
	"	22	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	出願書類受領	22	D	51	出願書類受領書	高等学校長		所属長等	受領後
	受験資格の確認	23	F	52	受験票送付一覧	高等学校長		所属長等 写しを中学校長	2月22日(木) 午前11時までに発送
	社会人特別選抜結果通知書	23	G	53	社会人特別選抜結果通知書	高等学校長		所属長等 写しを中学校長	3月14日(木) 午後3時
"	23	H	54	合格通知書	高等学校長	所属長等	合格者		
全国募集選抜	全国募集に係る身元引受人の報告・承諾	28	K-4	58	身元引受人報告書・身元引受承諾書 (全国募集選抜の出願者用)	志願者		高等学校長	出願承認申請時に提出
	全国募集選抜の出願承認	28	K-2	57	宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用)	志願者		高等学校長	2月15日(木) 午前11時
	"	29	L	59	宮城県公立高等学校出願承認書	高等学校長		志願者	受理・審査後
	全国募集選抜出願手続	29	願書等	60,65	入学願書及び写真票、志願理由書	志願者	中学校長	高等学校長	2月16日(金) 午前11時
	"	29	B	69	調査書	中学校長		高等学校長	
	"	29	C	50	出願者一覧表	中学校長		高等学校長	
	全国募集選抜結果通知	31,32	G	53	全国募集選抜結果通知書	高等学校長		中学校長	3月14日(木) 午後3時
"	31	H	54	合格通知書	高等学校長	中学校長	合格者		
特例措置による出願承認	県内特例措置出願承認	13	K-1	56	宮城県公立高等学校出願承認願 (県内の特例措置による出願者用)	志願者		高等学校長	2月29日(木) 午前11時
	県外からの特例措置出願承認	26	K-2	57	宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用)	志願者		高等学校長	2月29日(木) 午前11時
	東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願承認	76	K-3	78	宮城県公立高等学校出願承認願 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用)	志願者		高等学校長	出願時に提出
	県内特例措置及び県外からの出願承認	13, 25, 27, 29	L	59	宮城県公立高等学校出願承認書	高等学校長		志願者	受理・審査後
の受験配慮上	受験上の特別配慮	37	P	61	受験上の配慮申請書	中学校長		高等学校長	12月以降のできるだけ早い時期
	"	37	Q	62	受験上の配慮通知	高等学校長		中学校長	受理・審査後
その他報告様式	出願者数報告	9	E-1		第一次募集出願者数の報告	高等学校長	県教育庁 高校教育課長	出願締切後直ちに	
	"	19	E'-1		連携型選抜出願者数の報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	出願締切後直ちに	
	"	17	E-2		第二次募集出願者数の報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	出願締切後直ちに	
	合格者数報告	12	I		第一次募集合格者数報告	高等学校長	県教育庁 高校教育課長	3月14日(木)正午	
	"	20	I'		連携型選抜合格者数報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	3月14日(木)正午	
	出願承認報告	13, 25, 27, 29	M		宮城県公立高等学校出願承認報告書	高等学校長	県教育庁 高校教育課長	3月4日(月)	
	第二次募集予定報告	14	N		第二次募集実施予定報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	12月16日(金)出願締切後直ちに 2月14日(木)正午	
	第二次募集結果報告	17	O		第二次募集結果の報告	高等学校長	県教育長 高校教育課長	合格発表後直ちに	
採点日調査		R		入試採点日調査	高等学校長	県教育長 高校教育課長	後日通知する		
検査室数調査		S		検査室数報告書	高等学校長	県教育長 高校教育課長	2月16日(金) 午後4時		

市立高等学校にあっては所属教育委員会教育長を経て県教育長に報告する。

要項に掲載されていない様式については後日通知する。

凡 例

様式の中で使う略称とその意味については以下のとおりである。

県外	県外からの出願を承認された者が出願することをいう。
全国	全国募集選抜に出願することをいう。
海外	海外帰国者等が出願することをいう。
過卒	過年度卒業生が出願することをいう。
県境	県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定により出願することをいう。
特支	特別支援学級在籍者が出願することをいう。
社会人	社会人特別選抜に出願することをいう。
連携	連携型選抜に出願することをいう。
区域外	東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置により出願することをいう。

様式記入の一般的注意

- 1 各学校・学科・コースにおいて記入の必要のない欄には斜線又は*を付す。
- 2 各学校・学科・コースにおいて該当する者がいない場合、その欄には「0」と記入する。
- 3 貞山高等学校については、コースの欄に昼間部・夜間部の別を記入する。
- 4 東松島高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部・Ⅲ部の別を記入する。
- 5 田尻さくら高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部の別を記入する。
- 6 仙台大志高等学校については、コースの欄にⅠ部・Ⅱ部の別を記入する。

様式 A

メール施行 (様式A) 出願希望調査集計表

令和 6 年 1 月 日

宮城県教育庁高校教育課長 殿

※ の箇所に入力すること
 ※すべての入力完了後に「入力チェック」ボタンを押し、
 エラーが出た場合は修正し、再度ボタンを押すこと

入力チェック

<チェック結果>

中学校番号入力	
日付・中学校名・担当者職氏名	
在籍生徒数・過年度卒業生数	
合計数と在籍数+過卒数一致	
過卒合計数と過卒数一致	

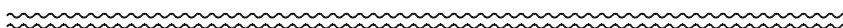
中学校長

中学校番号	
担当者職・氏名	

	計
在籍生徒数	
過年度卒業生数	

※該当者がいない場合は、0(ゼロ)を入力

学校名	学科・コース	令和6年度 募集定員	志願者数	左記志願者数のうち	
				県境	過卒
1 白石	普通科	240			
	看護科	40			
2 蔵王	普通科	80			
	機械科	80			
3 白石工	電気科	40			
	工業化学科	40			
	建築科	40			
	設備工業科	40			



12 仙台工※	建築土木科 / 夜	40			
	機械システム科 / 夜	40			
定 時 制 合 計		960	0	0	0
通信制 (美田園)					
特別支援学校高等部					
国立高等専門学校					
私立高校 (専願・推薦を含む)					
中等教育学校					
各種学校等					
就職及び家業 (家事)					
【 県 外 】	進学 (就職進学を含む)				
	就職				
合計			0	0	0

- <注> 1 在籍生徒数には特別支援学級在籍生徒数を含めた第3学年生徒全員の数を入力すること。
 2 第3学年生徒全員と県内進学を希望する過年度卒業生を対象に第1希望で集計のこと。
 したがって、例えば私立高等学校を併願する公立高等学校志願者であっても、私立高等学校を第1希望とするものについては、「私立高校」の欄に入力すること。
 3 「中学校番号」は、県教育庁高校教育課から別途送付する中学校番号表を参照すること。
 4 「各種学校等」とは、専修学校、各種学校及び文部科学省以外が所管する学校（職業訓練校など）をいう。
 5 「合計」は「在籍生徒数」と「過年度卒業生数」を加えた数となる。
 なお、社会人など中学校が把握できない者は「過年度卒業生」に含めなくともよい。

様式B (調査書) は、69頁参照のこと。

様式 C

(/ 中)				
第一次募集 連携型選抜 全国募集選抜 第二次募集	出 願 者 一 覧 表			
令和 年 月 日 ○○中学校長 氏 名 印				
志願高等学校名	高等学校 (校)	課程別	全日制・定時制	
出 願 者 数	名			
受 付 番 号*	志 望 学 科 名 (コース)	氏 名	満 年 齢 (4月1日現在)	備 考

- <注> 1 第一次募集・連携型選抜・全国募集選抜・第二次募集のいずれかを で囲むこと。
- 2 全日制・定時制のいずれかを で囲むこと。
- 3 全日制・定時制別、本校・分校別及び学科・コース別に作成し、枠外右上端「(/ 中)」には、各高等学校に提出する全ての用紙の枚数を分母にして、例えば、全3頁中の1頁目の場合は「(1/3中)」、2頁目の場合は「(2/3中)」のように示すこと。
- 4 受付番号欄には、記入しないこと。
- 5 志望学科名(第2志望学科がある場合でも、第1志望学科名のみを記載すること。)は、普通科、農業科、電気科等と記入すること。
- 6 満年齢は令和6年4月1日現在で記入すること。
- 7 第一次募集、連携型選抜、全国募集選抜及び第二次募集の出願の際、それぞれ提出すること。
- 8 備考欄については、下表により略記で記入すること。また、第二次募集にあつては、14頁の「3 出願資格」を参照し、(1)～(5)のうち該当する番号を記入すること。

出 願 等 の 種 類	略 記
県外からの出願	県 外
海外帰国者等の出願	海 外
過年度卒業生の出願	過 卒
県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定に基づく出願	県 境
特別支援学級在籍者の出願	特 支
東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願	区域外

様式 D (社会人特別選抜のみ)

		令和	年	月	日
社会人特別選抜	出願書類受領書				
(所属長) 殿					
		〇〇高等学校長	氏	名	印
下記の書類を受領しました。					
1	入学願書及び写真票	…	通		
2	社会人特別選抜推薦書	…	通		
3	調査書	…	通		
4	受験票等送付用封筒	…	枚		
5	結果通知用封筒	…	枚		

- <注> 1 社会人特別選抜においてのみ作成すること。
2 受領した書類の内訳については、提出書類に即して記載すること。

様式 F (社会人特別選抜のみ)

受験票送付一覧				
令和 年 月 日				
所属長 殿				
〇〇高等学校長 氏 名 印				
No.	学科 (コース)	受験番号	氏 名	備 考

<注> 社会人特別選抜の場合に、所属長等に送付し、中学校長には写しを送付する。

様式 G (第一次募集、連携型選抜、全国募集選抜、第二次募集、社会人特別選抜)

第一次募集
 連携型選抜
 全国募集選抜 結果通知書
 第二次募集
 社会人特別選抜

令和 年 月 日

〇〇中学校長 殿
 (所属長 殿)

〇〇高等学校長 氏 名 印

通し 番号	志望学科 (コース・部)	受験 番号	氏 名	志望学科の合否		第2志望 合格学科 (コース・部)
				合	否	
1						
2						

- <注> 1 志望学科 (コース・部) とは、第1志望学科 (コース・部) をさす。
 2 社会人特別選抜の場合は、所属長等に送付し、中学校長には写しを送付する。
 3 欠席者 (受験を辞退した者を含む。) については一切記載しないこと。

合 格 通 知 書

受 験 番 号 _____

氏 名

あなたは、令和 年度入学者選抜の結果、本校 課程 科
(コース) に合格しましたので通知します。

令和 年 月 日

〇〇高等学校長 氏 名 印

社会人特別選抜 推薦書

令和 年 月 日

〇〇 高等学校長 殿

〇〇株式会社

代表取締役社長 氏 名 印

令和6年3月末で本社勤務満〇年〇月となる見込みの社員〇〇〇〇〇は、下記の「推薦理由」により、貴校 科（ 部）への入学が適当と認められるので推薦いたします。

記

推 薦 理 由

<注> 推薦理由は、21頁の「2 出願資格」(2)を参照すること。

様式 K-1 (県内の特例措置による出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (県内の特例措置による出願者用) (特 例)				
令和 年 月 日				
〇〇高等学校長 殿				
本人氏名 (本人署名又は記名押印)				
保護者氏名 (本人署名又は記名押印)				
下記のとおり、一家転住により出願先の変更を希望するので、承認くださるよう、お願いします。				
記				
本 人	現 住 所	〒 ()		
	在学(出身)中学校	電話番号 () -		
	卒業見込(卒業)の 年月	昭和 平成 令和	年 月	卒業見込・卒業
	氏 名			
	生 年 月 日	昭和 平成	年 月 日	年齢 歳
保 護 者	現 住 所	〒 ()		
	氏 名	電話番号 () -		
転 居 先 住 所				
変 更 後 の 出 願 先				
理 由	----- ----- ----- -----			
学校所在地		〇〇中学校長 氏 名 印		
上記のとおり相違ないことを証明します。				

- <注> 1 理由は具体的に記入すること。
 2 返信用封筒 (長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手貼付、宛先明記) を同封すること。

様式 K-2 (県外からの出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (県外からの出願者用) ()

令和 年 月 日

〇〇高等学校長 殿

本人氏名

(本人署名又は記名押印)

保護者氏名

(本人署名又は記名押印)

下記のとおり、貴校に入学したいので、出願を承認くださるよう、お願いします。

記

本人	現住所	〒 ()				
	在学(出身)中学校	電話番号 () -				
	卒業見込(卒業)の年月	昭和 平成 令和	年	月	卒業見込・卒業	
	氏名					
	生年月日	昭和 平成	年	月	日生	年齢
保護者	現住所	〒 ()				
	氏名	電話番号 () -				
転居先住所						
理由	----- ----- ----- -----					
学校所在地		〇〇中学校長				
		氏名			印	
上記のとおり相違ないこと及び貴県の公立高等学校以外の公立高等学校に出願しないことを証明します。						

- <注> 1 特例措置による出願の場合は、右上の () に**特例**と記入すること。
 2 全国募集選抜の出願の場合は、右上の () に**全国**と記入すること。
 3 理由は具体的に記入すること。
 4 返信用封筒(長形3号封筒に、簡易書留速達郵便料金分の切手貼付、宛先明記)を同封すること。
 5 転居先住所については、「〇〇市に居住予定」等でも可とする。

身元引受人報告書

令和____年____月____日

宮城県_____高等学校長 殿

宮城県_____高等学校に入学した場合、その在学中、_____殿
が志願者の身元引受人となります。

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

保護者住所 _____

※身元引受人を自治体に依頼する場合は、身元引受人氏名欄及び以下は空欄のまま提出すること

身元引受承諾書

志願者が、宮城県_____高等学校に入学した場合、その在学中、志願者の
身元引受人となることを承諾します。

令和____年____月____日

身元引受人氏名 _____ 印

身元引受人住所 _____

		割印	
		〇〇高等学校指令第	号
宮城県公立高等学校出願承認書 ()			
令和 年 月 日付けで申請のあった下記の者の出願について、承認します。			
記			
1	氏名		
2	生年月日		
3	在学(出身)中学校		
4	志願高等学校名		
5	理由		
6	転居先住所		
	令和 年 月 日	〇〇高等学校長	氏名 印

- <注> 1 特例措置による出願の場合は、右上の()に**特例**と記入すること。
2 全国募集選抜の出願の場合は、右上の()に**全国**と記入すること。
3 理由は、簡潔に記入すること。

受験番号	※
------	---

志 願 理 由 書 (全国募集選抜用)

中学校名 _____ 立 _____ 中学校
年 _____ 月 _____ 卒業見込 / 卒業

ふりがな
志願者氏名 _____

志願先高等学校名	高等学校	学科	科
1 志望する理由を書きなさい。			
.....			
.....			
.....			
.....			
2 高校入学後の抱負を書きなさい。			
.....			
.....			
.....			
.....			
3 高校を卒業後、どのような進路に進み、どのような社会人になりたいのかを書きなさい。			
.....			
.....			
.....			
.....			

1 ※以外は、志願者本人が直筆で記入すること。
2 黒のボールペンを用いて記入すること。（「消えるボールペン」は使用しないこと。）
3 誤記を訂正する場合は、二重線で消して訂正すること。

受験上の配慮申請書

〇〇高等学校長 殿

令和 年 月 日

〇〇中学校長 氏 名 印

下記のとおり、学力検査・面接等の受験上の配慮をお願いします。

記

氏 名		性別	男・女	生年月日	昭和 平成 年 月 日生
志望学科等	課程 科 (コース)		受験番号	※	
在学(出身) 中学校		卒業見込 (卒業)の年月	昭和 平成 令和	年 月	卒業見込 卒業
配慮の内容	海外帰国者等 身体上のこと等 () その他 ()				
配慮の 希望 事項	施設面				
	検査方法				
	その他				
配慮が必要な理由					

- 〈注〉 1 「受験番号」の欄については、記入しないこと。
 2 「配慮の内容」の欄については、該当する項目を で囲み、() 内には、その具体的な内容を記入すること。
 3 配慮の希望事項の記入について
 (1) 施設面については、検査会場における検査室、座席等の希望を記入すること。
 (2) 検査方法については、拡大文字での検査、英語の放送による検査における直接検査、検査時間の延長等の希望を記入すること。
 (3) その他については、特別な器具の持込や薬の服用など、上記(1)、(2)以外の配慮を希望する場合に記入すること。
 (4) 「配慮の希望事項」の欄は、受験上の配慮に関する記入欄であり、選抜に関する配慮等については、記入しないこと。
 4 中学校長は、配慮申請の妥当性を示す資料（診断書、中学校での生活の様子や配慮した内容等を記載した副申書など）を添付して、志願高等学校長に提出すること。

様式 Q

受験上の配慮通知

令和 年 月 日

〇〇中学校長 殿

〇〇高等学校長 氏 名 印

令和 年 月 日付けで申請のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

志 願 者 氏 名		受 験 番 号	
志 望 学 科 (コ ー ス)			
配 慮 事 項 に つ い て			

追 試 験 申 請 書

令和 年 月 日

_____ 高等学校長 殿

_____ 中学校

校長 _____ 印

第一次募集を欠席した下記の者について、追試験の受験を申請します。

記

受験番号	受験者氏名
欠席した 検査	1 学力検査 2 面接・実技・作文 (該当するものに○を付けてください)
事 由	イ インフルエンザ等の感染症などへの罹患又はその症状 ロ その他やむを得ない事由 (該当するものに○を付けてください)
	具体的事由

※ 事由イの場合、診断書等を添付すること。

※ 事由ロの場合、中学校長が欠席の事由を具体的に記載すること。

追 試 験 受 験 許 可 証

令和 年 月 日

_____ 中学校長 殿

_____ 高等学校長 印

令和 年 月 日付けで申請のありました追試験については、下記のとおり受験を許可します。

記

受験番号		受験者氏名	
実施する検査 及び日時	1	学力検査	3月8日
	2	面接・実技・作文	学力検査終了後
			月 日 時 分集合

※学力検査の日程は、受験票の裏面を参照のこと。

※○が付いている項目が対象となります。

【注】追試験当日は、受験票と追試験受験許可証の写しを受付で提示してください。

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 写真票

全定の別	学科・コース名	受験番号	※
全・定	(科 コース部)	氏名	
在学(出身) 中学校	中学校		

- 写真欄
- ・上半身正面、無帽
 - ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
 - ・縦4cm、横3cm
 - ・カラー・白黒を問いません。
 - ・写真の裏に氏名と中学校校名を記入し、貼付すること。

(切り離さないで提出のこと。)

県外からの出願者、全国募集選抜の出願者、海外帰国者等の出願者、過年度卒業生の出願者、岩手・福島との県境隣接協定に基づく出願者、特別支援学級からの出願者、社会人特別選抜の出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右の○の中に、それぞれ県外、全国、海外、過卒、県境、特支、社会人及び区域外と朱書する。

受験番号 ※

入学者選抜手数料	<p>県立高等学校出願者は宮城県収入証紙をここに貼付する(消印、割印しないこと)。 仙台市立高等学校出願者は納入通知書兼領収書を願書裏面に貼付すること。 石巻市立高等学校出願者は納入通知書兼領収証書を願書裏面に貼付すること。</p>
----------	--

入学願書

高等学校長殿
(校)

令和6年 月 日

ふ り が な
本人氏名
(本人署名又は記名押印)

(昭和 年 月 日生)
平成

ふ り が な
保護者(又は保証人)氏名
(本人署名又は記名押印)

貴校(全日制・定時制)課程()科()コース部)に
入学を志願いたします。

本人	現住所	〒()	
	在学(出身) 中学校	昭和 平成 令和	年 月 卒業見込・卒業
保護者 (又は保証人)	現住所	〒()	
		電話番号(県外の場合のみ記入)	() —
第2志望	科	コース部	

(切り離さないで提出のこと。)

割印

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 受験票

全定の別	学科・コース名	受験番号	※	氏名	
全・定	(科 コース部)				
在学(出身) 中学校	中学校	生年月日	昭和 平成	年 月 日生	
出願校名及び 受験場所	※ 高等学校				

(※の欄は記入しないこと。)

記入上の注意

- 1 入学願書は、本人及び保護者(保証人)が記入すること。
ただし、本人が18歳以上の場合は保護者(保証人)の記入は不要であるが、その場合であっても**本人の電話番号を保護者の電話番号欄に記入すること。**
- 2 分校に出願する者は、分校名を分校名欄に〇〇校と記入すること。

仙台市立高等学校に出願する場合は納入通知書兼領収書を、石巻市立高等学校に出願する場合は納入通知書兼領収証書を、上下のミシンの間に貼付すること。

- 3 入学願書は、黒のボールペンを用いて記入すること。「消えるボールペン」は使用しないこと。
- 4 氏名については、住民票どおりに記載すること。
- 5 生年月日については、「昭和・平成」のどちらかを○で囲むこと。
- 6 保護者欄には、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入すること。
- 7 志望課程については、全日制・定時制のどちらかを、で囲むこと。
- 8 「()科()」のところは、出願する学科、コース・部名を記入すること。ただし、出願する学校に二つ以上の小学科が置かれている場合、例えば、工業に関する学科における機械科、電気科等のような場合には、その小学科名を記入すること。一括募集を実施する学科については、「農業・園芸」のように記入すること。記入しない場合は斜線(左上から右下)を引くこと。
(例) 「()科()」
- 9 在学(出身)中学校欄の「昭和・平成・令和」及び「卒業見込・卒業」については、それぞれどちらかを で囲むこと。
なお、中等教育学校前期課程においては「修了見込・修了」を「卒業見込・卒業」として扱うこと。
- 10 第2志望欄には、志望する学科、コース・部名を記入すること。ただし、第2志望とすることを認める学科・コース・部を志望する場合に限る。記入しない場合は、斜線(左上から右下)を引くこと。

(例)

第2志望	科	コース 部
------	---	----------

- 11 県立高等学校出願者にあつては、宮城県収入証紙(全日制課程2,200円、定時制課程950円)を、所定の欄に貼付すること(消印、割印しないこと)。
市立高等学校出願者にあつては、それぞれの市条例で定める額の手数料(全日制課程2,200円、定時制課程950円)を金融機関に納入し、仙台市立高等学校出願者にあつては**納入通知書兼領収書**を、石巻市立高等学校出願者にあつては**納入通知書兼領収証書**を、**願書裏面に貼付すること。**
- ◎ 第一次募集出願受付期間は**2月13日(火)**から**2月16日(金)**までとする。
受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の**2月16日(金)**は午前11時までとする(郵送する場合であっても、**2月16日(金)午前11時までに必着のこと。**)。

・検査期日 令和6年3月5日(火) ・集合時刻 午前8時30分
・学力検査の日程

8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語			[5] 理科

- ・当日持参するもの
受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、一組の三角定規、コンパス、昼食、上ばき、腕時計 ※直線定規の使用も認める。
- ・学力検査を受ける際、分度器(分度器機能付きの定規を含む)の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類(スマートフォン・スマートウォッチ等を含む)の使用は認めない。
その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 写真票

全定の別	学 科 名	受験番号	※
全	科	氏 名	
在学中学校	中学校		

- 写真欄
- ・上半身正面、無帽
 - ・最近3ヶ月以内に撮影したもの
 - ・縦4cm、横3cm
 - ・カラー・白黒を問いません。
 - ・写真の裏に氏名と中学校名を記入し、貼付すること。

(切り離さないで提出のこと。)

海外帰国者等の出願者、特別支援学級からの出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右の○の中に、それぞれ海外、特支及び区域外と朱書する。

受験番号	※
------	---

入学者選抜手数料	宮城県収入証紙をここに貼付する(消印、割印しないこと。)
----------	------------------------------

入 学 願 書 (連 携 型 選 抜)

令和6年 月 日

宮城県南三陸高等学校長 殿

ふ り が な
本 人 氏 名
(本人署名又は記名押印)

(平成 年 月 日生)

ふ り が な
保 護 者 (又 は 保 証 人) 氏 名
(本人署名又は記名押印)

貴校全日制課程 () 科に入学を志願いたします。

本 人	現住所	〒 ()
	在学中学校	令和6年 月 卒業見込
保 護 者 (又 は 保 証 人)	現住所	〒 () 電話番号 () —

(切り離さないで提出のこと。)

割印

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜 連携型選抜受験票

全定の別	学 科 名	受験番号	※	氏 名
全	科			
在学中学校	中学校	生年月日	平成 年 月 日生	
出願校名及び受験場所	宮 城 県 南 三 陸 高 等 学 校			

(※の欄は記入しないこと。)

令6連

記入上の注意

- 1 入学願書(連携型選抜)は、本人及び保護者(保証人)が記入すること。
 - 2 氏名については、住民票どおりに記載すること。
-
- 3 入学願書は、黒のボールペンを用いて記入すること。「消えるボールペン」は使用しないこと。
 - 4 保護者欄には、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入すること。
 - 5 「()科」のところは、出願する学科名を記入すること。
 - 6 宮城県収入証紙(全日制課程2,200円)を、所定の欄に貼付すること(消印、割印しないこと。)
- ◎ 出願受付期間は2月13日(火)から2月16日(金)までとする。
- 受付時間は、午前9時から午後4時までとし、締切日の2月16日(金)は午前11時までとする(郵送する場合であっても、2月16日(金)午前11時までに必着のこと。)

-
- ・ 検査期日 令和6年3月5日(火) ・ 集合時刻 午前8時30分
・ 学力検査の日程

8:30	9:05	9:55	10:15	11:05	11:25	12:15	13:00	13:50	14:10	15:00
受付確認 諸注意	[1] 国語		[2] 数学		[3] 社会	昼食 休憩	[4] 英語		[5] 理科	

- ・ 当日持参するもの
受験票、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、一組の三角定規、コンパス、昼食、上ばき、腕時計 ※直線定規の使用も認める。
- ・ 学力検査を受ける際、分度器(分度器機能付きの定規を含む)の使用や計算、翻訳、辞書、通信等の機能を有する機器類(スマートフォン・スマートウォッチ等を含む)の使用は認めない。その他、アラーム音を発するなど検査の公正を欠くおそれのある物も同様とする。

(様式B)

(令和6年度入学者選抜用)

調査書

ふりがな 氏名		性別	
生年月日	平成 年 月 日生		
卒業年月	令和 年 月	卒業見込	

調査書等作成委員会	
記載責任者印	

受験番号	※No.
------	------

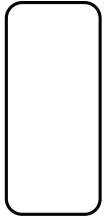
記載内容に誤りがないことを証明します。

令和 年 月 日

学 校 名

校 長 氏 名

印



1 各教科の学習の記録					
教科	学年	1	2	3	※
	国 語				
社 会					
数 学					
理 科					
外 国 語					
音 楽					
美 術					
保 健 体 育					
技 術・家 庭					

4 特別活動等の記録	
(1) 学級活動 (2) 生徒会活動 (3) 学校行事 (4) その他	

2 総合的な学習の時間の記録	

5 スポーツ活動、文化活動、社会活動、ボランティア活動等の記録	

3 行動の記録			
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤 労 ・ 奉 仕	
責 任 感		公 正 ・ 公 平	
創 意 工 夫		公 共 心 ・ 公 徳 心	

6 欠席の状況			
学年	事項	欠席日数	事由
	1		
2			
3			

7 特記事項	

※No.

調査書作成上の留意事項

中学校長は、正確公正を期して調査書を作成するため、校内に調査書等作成委員会を設置すること。

調査書の作成に当たっては、所定の生徒指導要録等に基づいて、生徒に関する客観的な資料となるよう十分留意すること。

※ 令和6年度の入学選抜においては、文部科学省「今後の高等学校入学選抜等における新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた配慮等について（5文科初第594号令和5年6月16日）」に基づき、対応するものとする。

I 記入上の全般的注意

- 1 調査書の作成に当たっては、宮城県教育庁高校教育課のホームページに掲載されている様式又はソフトウェア等で自作した様式を用いる。また、手書きの場合は、黒のペンを用いる。ただし、鉛筆書きした原本を複写してもよい。
- 2 令和6年3月卒業見込みの者の調査書には、令和6年1月31日までの事項を記入する。
なお、調査書の発行日は、令和6年2月1日以降（2月1日を含む）の日付とすること。
- 3 数字は、すべて算用数字を用いる。
- 4 誤記を訂正する場合は、消しゴム、ナイフ、修正テープ等を用いず、記載責任者が訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押して訂正する。
- 5 ※No. の欄は記入しない。
- 6 卒業年月欄の右隣の欄については、「卒業見込」、「卒業」のいずれか一方を記入する。中等教育学校前期課程においては「修了見込」、「修了」のいずれか一方を記入する。
- 7 調査書等作成委員会の欄には、記載責任者の認印を押す。
- 8 作成した調査書は、必ず印刷をした上で生徒指導要録等の原本と相違ないかを複数の担当者で照合、確認すること。

II 各欄記入上の注意

- 1 「各教科の学習の記録」の欄について
1年から3年までの評定を生徒指導要録等に基づき**5段階**で記入する。
※の縦の欄は記入しない。
- 2 「総合的な学習の時間の記録」の欄について
学習活動及び学習評価の観点の中で顕著な事項や成長の様子を生徒指導要録等に基づき総合的に記入する。
- 3 「行動の記録」の欄について
第3学年について記入する。各項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる状況であると判断される場合」に、○印を記入する。
- 4 「特別活動等の記録」の欄について
特別活動等における生徒の活動状況について、該当する事項を適宜番号で示し、事実及び

所見を記入する。

- 5 「スポーツ活動、文化活動、社会活動、ボランティア活動等の記録」の欄について
上記各分野のいずれかにおいて、次の(1)～(4)に該当する場合は、その内容を具体的に記述する。該当しない場合には斜線を引くこと。

(1) スポーツ活動

校内外の活動において、特に優れた体育的能力を有する者（これまでの中学校体育連盟等の運動競技会において、県大会以上の大会で優秀な成績をおさめる等）

(2) 文化活動

校内外の活動において、特に優れた文化的能力を有する者（これまでの芸術作品展示会や発表会等の文化的活動において、県大会以上の大会で優秀な成績をおさめる等）

(3) 社会活動

中学校の特別活動などにおいて、継続的に活躍するなど、特に優れたリーダー性を有する者

(4) ボランティア活動

校内外において1年以上の長期間にわたり奉仕的活動に携わり、その活動が特に顕著であると認められる者

- 6 「欠席の状況」の欄について

事由の欄には、各学年において欠席日数が7日以上の場合は主な理由等を記入する。

- 7 「特記事項」の欄について

この欄には、次の項目で特記すべきことがあれば、該当する事項を番号で示し、生徒指導要録等に基づき記入する。

(1) 就学中の転・編入学に関すること

(2) 各教科の学習状況に関すること

(3) 行動の記録に関すること

(4) 健康状態に関すること

(5) 進路に関すること

(6) その他

- 8 県外からの出願者、全国募集選抜の出願者、海外帰国者等の出願者、過年度卒業生の出願者、岩手・福島の県境隣接協定に基づく出願者、特別支援学級からの出願者、社会人特別選抜の出願者、連携型選抜出願者及び東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者については、右上の□の中に、それぞれ**県外、全国、海外、過卒、県境、特支、社会人、連携及び区域外**と朱書する。例えば、県外からの過年度卒業生が出願する場合は、**県外・過卒**と朱書する。

Ⅲ その他

- 1 記載内容等について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。
2 平成30年3月末日までに中学校を卒業した者については、生徒指導要録の「学籍に関する記録」に相当する内容のみ記入する。ただし、**記入しない欄は斜線を引くこと。**

なお、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。

県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱いについて

I 県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定

(I) 宮城県と岩手県との協定

宮城県教育委員会と岩手県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成16年1月1日より施行し、平成16年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と岩手県の県境隣接地域県立高等学校入学志願取扱協定（平成13年12月28日締結）は、廃止する。

平成15年12月22日

宮 城 県 教 育 委 員 会
岩 手 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
栗原市（平成17年3月31日における旧栗駒町，旧金成町，旧若柳町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校
登米市（平成17年3月31日における旧石越町，旧中田町，旧東和町の区域に限る。）	一関第一高等学校 一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校
気仙沼市	千厩高等学校（普通科を除く） 高田高等学校 大船渡東高等学校

岩手県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
一関市（平成17年9月19日における一関市，西磐井郡花泉町の区域に限る。）	岩ヶ崎高等学校 迫桜高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校
一関市（平成17年9月19日における東磐井郡室根村および平成23年9月25日における東磐井郡藤沢町の区域に限る。）	気仙沼高等学校 本吉響高等学校 佐沼高等学校 登米総合産業高等学校 気仙沼向洋高等学校
大船渡市 陸前高田市	気仙沼高等学校 本吉響高等学校 気仙沼向洋高等学校

(Ⅱ) 宮城県と福島県との協定

宮城県教育委員会と福島県教育委員会とは、県境隣接地域に住所を有する者の県外県立高等学校への入学志願の取扱いについて次のとおり協定する。

- 1 県外からの県立高等学校への入学志願は、別表の左欄に掲げる市町村に住所を有する者に限り、当該右欄に掲げる県外県立高等学校についてのみ認めるものとする。
- 2 前項の県外県立高等学校への入学志願は、一校に限り認めるものとし、かつ、県内及び県外の公立高等学校への併願は、認めないものとする。
- 3 前項の併願を防止するため、次の措置を講ずるものとする。
 - (1) 県外県立高等学校への入学願書に、在学又は出身中学校の長の発行する県内公立高等学校との併願がない旨を証する書面を添付させること。
 - (2) 県外からの入学願書を受理した県立高等学校の長に対しては、当該入学志願者がその居住する県において入学志願できる公立高等学校の入学志願者名簿を閲覧できるようにすること。
- 4 県外からの入学志願者には、志願先県立高等学校を所管する県教育委員会が行う学力検査を受けさせるものとする。
- 5 県外からの入学志願者を、志願先県立高等学校の学区の入学志願者と同一に取扱い、いかなる差別的取扱いもしないものとする。
- 6 この協定に定めがない事項又は疑義が生じたときは、その都度両者が協議して定めるものとする。
- 7 この協定は、両者協議の上、改正することができる。この場合において、改正後の協定を次年度の入学志願から適用しようとするときは、その前年度の9月末日までに協議を整えるものとする。
- 8 この協定は、平成13年1月1日より施行し、平成13年度に入学しようとする者から適用する。
- 9 宮城県と福島県の県境隣接地域公立高等学校入学志願取扱協定（昭和52年10月11日締結）は、廃止する。

平成12年12月18日

宮 城 県 教 育 委 員 会
福 島 県 教 育 委 員 会

別表

宮城県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
白石市	伊達高等学校
伊具郡丸森町	伊達高等学校 相馬高等学校 相馬総合高等学校
亶理郡山元町	相馬高等学校 相馬総合高等学校

福島県側

市 町 村	志願できる県立高等学校
伊達郡国見町 〃 桑折町 伊達市梁川町 (平成17年12月31日現在の旧伊達郡梁川町の区域に限る)	白石高等学校 白石工業高等学校 伊具高等学校
相馬郡新地町 相馬市	伊具高等学校 亶理高等学校

Ⅱ 宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有する者が山形県の公立高等学校へ志願する場合

宮城県刈田郡七ヶ宿町に住所を有し、通学の便が悪いため本県の公立高等学校へ志願できない者は、山形県の最寄りの特定の高等学校（上山明新館高等学校、高畠高等学校）へ志願することができる。

県立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(昭和31年12月28日宮城県教育委員会規則第17号)
最終改正 平成29年3月教育委員会規則第11号

(趣旨)

第一条 県立高等学校（以下「高等学校」という。）の通学区域については、この規則の定めるところによる。

(通学区域)

第二条 高等学校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県に住所を有する者の取扱い)

第三条 他の都道府県に住所を有する者が宮城県の高齢学校に就学しようとするときは、別に定める場合を除き、宮城県教育委員会の承認を得なければならない。

2 前項の規定により承認を得ようとする者は、次の各号に掲げる事項を記載した申請書に、その者の在学する若しくは卒業した中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）又はその者の在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、第四号に掲げる理由を証明するに足る書類を添付して提出しなければならない。

一 現住所、氏名及び生年月日

二 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業若しくは前期課程の修了の年月

三 保護者の現住所及び氏名

四 高等学校への就学を必要とする理由

附 則

この規則は、平成29年3月31日から施行する。

仙台市立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(平成12年3月23日仙台市教育委員会規則第4号)
改正 平成29年2月23日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第一条 この規則は、仙台市立高等学校（以下「市立高校」という。）の通学区域に関し必要な事項を定めるものとする。

(通学区域)

第二条 市立高校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県からの就学)

第三条 他の都道府県に住所を有する者がやむを得ない理由により市立高校に就学しようとするときは、当該市立高校の校長の承認を得なければならない。

2 前項の承認を得ようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書に、その者の在学する若しくは卒業した中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）又はその者が在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、第四号に掲げる事項を証明するに足る書類を添付して提出しなければならない。

一 現住所、氏名及び生年月日

二 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業年月若しくは前期課程の修了年月

三 保護者の現住所及び氏名

四 市立高校への就学を必要とする理由

附 則

(施行期日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

石巻市立高等学校の通学区域に関する規則(抄)
(平成17年4月1日石巻市教育委員会規則第15号)
最終改正 平成29年3月29日教育委員会規則第3号

(趣旨)

第1条 この規則は、石巻市立高等学校の通学区域に関し必要な事項を定めるものとする。

(通学区域)

第2条 石巻市立高等学校の通学区域は、宮城県の全地域とする。

(他都道府県からの通学)

第3条 他の都道府県に住所を有する者でやむを得ない理由により石巻市立高等学校への就学を希望する者は、教育委員会の承認を得て、石巻市立高等学校に通学することができる。

2 前項の承認を得ようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書に、当該者の在学する若しくは卒業した中学校(義務教育学校を含む。以下同じ。)又は当該者が在学する若しくは前期課程を修了した中等教育学校の校長の証明を付し、石巻市立高等学校への就学を必要とする理由を証明する書類を添付して提出しなければならない。

(1) 現住所、氏名及び生年月日

(2) 在学する中学校若しくは中等教育学校の名称及び卒業見込み若しくは前期課程の修了見込みの年月、又は卒業した中学校若しくは前期課程を修了した中等教育学校の名称及び卒業年月若しくは前期課程の修了年月

(3) 保護者の現住所及び氏名

(4) 石巻市立高等学校への就学を必要とする理由

(補則)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜における 東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置

宮城県教育委員会
仙台市教育委員会
石巻市教育委員会

令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜において、東日本大震災の被災により区域外就学している生徒が本県内の公立高等学校への入学を希望する場合には、令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項の居住区域の定めに関わらず、受験に係る措置として、次のように扱うものとする。

1 出願資格及び出願手続

(1) 出願資格

次のイの①及び②並びにロの①及び②のいずれかに該当し、本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項の「I 募集及び出願」の「3 出願制限」に関わらず、本県内の公立高等学校の入学者選抜（ただし、連携型選抜及び社会人特別選抜を除く。）に出願できるものとする。

ただし、いずれにおいても、本県内の公立高等学校に入学後、本人及び保護者が本県内に居住する場合とする。

イ 平成23年3月11日現在、県外に住所を有していた者のうち

- ① 被災に伴う避難のため、一家で本県内に居住し、本県内の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者
- ② 被災に伴う避難のため、保護者の元を離れて本人のみが本県内に居住し、本県内の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者

ロ 平成23年3月11日現在、本県内に住所を有していた者のうち

- ① 被災に伴う避難のため、一家で県外に居住し、県外の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者
- ② 被災に伴う避難のため、保護者の元を離れて本人のみが県外に居住し、県外の中学校にやむを得ず区域外就学をしている者


(2) 出願手続

当該措置により出願する者は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める出願書類に加えて、宮城県公立高等学校出願承認願（東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用）（様式K-3）を、現在在籍している中学校長を経て高等学校長に提出する。


この場合、高等学校長は、宮城県公立高等学校出願承認書（様式L）の交付を省略する。

2 出願書類作成上の注意

(1) 入学願書及び写真票

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、右上の  の中に、**区域外**と朱書するものとする。

(2) 調査書（様式B）

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、右上の  の中に、**区域外**と朱書するものとする。

(3) 出願者一覧表（様式C）

上記「1 出願資格及び出願手続」による出願の場合においては、備考欄に**区域外**と朱書するものとする。

3 被災に伴う転学者の取扱い

- (1) 平成23年3月11日現在、本県内に住所を有していた者で、被災に伴う避難のため、本県内から県外に住民票を移動した上で転居し転学した者は、当該措置の対象としない。

本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める「Ⅶ 県外からの出願」（24頁）に基づき出願すること。

- (2) 平成23年3月11日現在、県外に住所を有していた者で、被災に伴う避難のため、県外から本県内に住民票を移動した上で転居し転学した者は、当該措置の対象としない。

本県内の公立高等学校への入学を希望する場合は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項に定める通常の出願手続きに基づき出願すること。

様式 K-3 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用)

宮城県公立高等学校出願承認願 (東日本大震災の被災に伴う区域外就学者の受験に係る措置による出願者用)				
令和 年 月 日				
〇〇高等学校長 殿		本人氏名 (本人署名又は記名押印)		
		保護者氏名 (本人署名又は記名押印)		
下記のとおり、貴校に入学したいので、出願を承認くださるよう、お願いします。				
記				
本人	現住所(避難先の住所)	〒 ()		
	住民票の住所			
	在学中学校	中学校 令和 年 月 卒業見込		
	氏 名			
	生 年 月 日	平成 年 月 日生	年齢	歳
保護者	現住所(避難先の住所)	〒 () 電話番号 () -		
	氏 名	続柄 ()		
	入学後の住所(予定)	〒 ()		
平成23年3月11日現在の住所(避難前の住所)		〒 ()		
理由	----- ----- -----			
学校所在地		〇〇中学校長		※
		氏 名		印
		電話番号 () -		
上記のとおり相違ないこと、及び貴県の公立高等学校以外の公立高等学校に出願しないことを証明します。				

- <注> 1 志願者本人又は保護者が理由の欄まで記入すること。理由は具体的に記入すること。
2 中学校長は記載内容を確認の上、※の欄を作成すること。

宮城県公立高等学校出願書類送付先一覧

高等学校	郵便番号	住所	電話番号
宮城県白石高等学校	989-0247	白石市八幡町9-10	0224(25)3154
宮城県白石高等学校 七ヶ宿校			
宮城県蔵王高等学校	989-0851	刈田郡蔵王町大字曲竹字濁川添赤岩1-7	0224(33)2005
宮城県白石工業高等学校	989-0203	白石市郡山字鹿野43	0224(25)3240
宮城県村田高等学校	989-1305	柴田郡村田町大字村田字金谷1	0224(83)2275
宮城県大河原産業高等学校	989-1233	柴田郡大河原町字上川原7-2 ※2	0224(51)9180
宮城県柴田農林高等学校 川崎校	989-1233	柴田郡大河原町字上川原7-2 (柴田農林高等学校内) ※2	0224(53)1049
宮城県柴田高等学校	989-1621	柴田郡柴田町大字本船迫字十八津入7-3	0224(56)3801
宮城県角田高等学校	981-1505	角田市角田字牛館1番地	0224(63)3001
宮城県伊具高等学校	981-2153	伊具郡丸森町字雁歌51	0224(72)2020
宮城県名取高等学校 ※1	989-2474	岩沼市字朝日50	0223(22)3151
宮城県名取北高等学校	981-1224	名取市増田字柳田103番地	022(382)1261
宮城県亶理高等学校	989-2361	亶理郡亶理町字館南56の2	0223(34)1213
宮城県農業高等学校	981-1242	名取市高館吉田字吉合66番地	022(384)2511
宮城県仙台第一高等学校	984-8561	仙台市若林区元茶畑4番地	022(257)4501
宮城県仙台二華高等学校	984-0052	仙台市若林区連坊一丁目4番1号	022(296)8101
宮城県仙台三桜高等学校	982-0845	仙台市太白区門前町9番2号	022(248)0158
宮城県仙台向山高等学校	982-0832	仙台市太白区八木山緑町1番1号	022(262)4130
宮城県仙台南高等学校	982-0844	仙台市太白区根岸町14番1号	022(246)0131
宮城県仙台西高等学校	982-0806	仙台市太白区御堂平5番1号	022(244)6151
宮城県仙台東高等学校	984-0832	仙台市若林区下飯田字高野東70番地	022(289)4140
宮城県工業高等学校	980-0813	仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2番1号	022(221)5656
仙台市立仙台工業高等学校 ※1	983-8543	仙台市宮城野区東宮城野3番1号	022(237)5341
宮城県仙台第二高等学校	980-8631	仙台市青葉区川内澗橋通1番地	022(221)5626
宮城県仙台第三高等学校	983-0824	仙台市宮城野区鶴ヶ谷一丁目19番	022(251)1246
宮城県宮城第一高等学校	980-0871	仙台市青葉区八幡一丁目6番2号	022(227)3211
宮城県宮城広瀬高等学校	989-3126	仙台市青葉区落合四丁目4番1号	022(392)5512
宮城県泉高等学校	981-3132	仙台市泉区将監十丁目39番1号	022(372)4111
宮城県泉松陵高等学校	981-3109	仙台市泉区鶴が丘四丁目26-1	022(373)4125
宮城県泉館山高等学校	981-3211	仙台市泉区長命ヶ丘東1番地	022(378)0975
宮城県宮城野高等学校	983-0021	仙台市宮城野区田子二丁目36番1号	022(254)7211
仙台市立仙台高等学校	981-8502	仙台市青葉区国見6丁目52-1	022(271)4471
仙台市立仙台商業高等学校	981-3131	仙台市泉区七北田字古内75	022(218)3141
宮城県塩釜高等学校	985-0056	塩竈市泉ヶ岡10番1号	022(362)1011
宮城県多賀城高等学校	985-0831	多賀城市笠神二丁目17番1号	022(366)1225
宮城県松島高等学校	981-0215	宮城郡松島町高城字迎山3-5	022(354)3307
宮城県利府高等学校	981-0133	宮城郡利府町青葉台一丁目1番地の1	022(356)3111
宮城県黒川高等学校	981-3685	黒川郡大和町吉岡字東柴崎62	022(345)2171
宮城県富谷高等学校	981-3341	富谷市成田二丁目1-1	022(351)5111

高等学校	郵便番号	住所	電話番号
宮城県古川高等学校	989-6155	大崎市古川南町二丁目3番17号	0229(22)3034
宮城県古川黎明高等学校	989-6175	大崎市古川諏訪一丁目4番26号	0229(22)3148
宮城県岩出山高等学校	989-6437	大崎市岩出山字城山2番地	0229(72)1110
宮城県中新田高等学校	981-4294	加美郡加美町字一本柳南28	0229(63)3022
宮城県松山高等学校	987-1304	大崎市松山千石字松山1番地の1	0229(55)2313
宮城県加美農業高等学校	981-4111	加美郡色麻町黒沢字北條152	0229(65)3900
宮城県古川工業高等学校 ※1	989-6171	大崎市古川北町四丁目7番1号	0229(22)3166
宮城県鹿島台商業高等学校	989-4104	大崎市鹿島台広長字壱師前44	0229(56)2664
宮城県涌谷高等学校	987-0121	遠田郡涌谷町涌谷字八方谷三・1	0229(42)3331
宮城県小牛田農林高等学校	987-0004	遠田郡美里町牛飼字伊勢堂裏30	0229(32)3125
宮城県南郷高等学校	989-4204	遠田郡美里町大柳字天神原7番地	0229(58)1122
宮城県佐沼高等学校 ※1	987-0511	登米市迫町佐沼字末広1	0220(22)2022
宮城県登米高等学校	987-0702	登米市登米町寺池桜小路3番地	0220(52)2670
宮城県登米総合産業高等学校	987-0602	登米市中田町上沼字北桜場223-1	0220(34)4666
宮城県築館高等学校	987-2203	栗原市築館字下宮野町浦22番地	0228(22)3126
宮城県岩ヶ崎高等学校	989-5351	栗原市栗駒中野愛宕下1番地3	0228(45)2266
宮城県迫桜高等学校	989-5502	栗原市若柳字川南戸ノ西184番地	0228(35)1818
宮城県一迫商業高等学校	987-2308	栗原市一迫真坂字町東133番地	0228(52)4112
宮城県石巻高等学校	986-0838	石巻市大手町3番15号	0225(93)8022
宮城県石巻好文館高等学校	986-0851	石巻市貞山三丁目4番1号	0225(22)9161
宮城県石巻西高等学校	981-0501	東松島市赤井字七反谷地27番地	0225(83)3311
宮城県石巻北高等学校	986-1111	石巻市鹿又字用水向126	0225(74)2211
宮城県石巻北高等学校 飯野川校			
宮城県水産高等学校	986-2113	石巻市宇田川町1番24号	0225(24)0404
宮城県石巻工業高等学校	986-0851	石巻市貞山五丁目1番1号	0225(22)6338
宮城県石巻商業高等学校	986-0031	石巻市南境字大樋20番地	0225(22)9188
石巻市立桜坂高等学校	986-0833	石巻市日和が丘二丁目11番8号	0225(22)4421
宮城県気仙沼高等学校 ※1	988-0051	気仙沼市常楽130番地	0226(24)3400
宮城県南三陸高等学校	986-0775	本吉郡南三陸町志津川字廻館92番地2	0226(46)3643
宮城県本吉響高等学校	988-0341	気仙沼市本吉町津谷桜子2番地24	0226(42)2627
宮城県気仙沼向洋高等学校	988-0235	気仙沼市長磯牧通78番地	0226(27)2311
宮城県第二工業高等学校	980-0813	仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2-1	022(221)5659
宮城県貞山高等学校	985-0841	多賀城市鶴ヶ谷一丁目10番2号	022(362)5331
宮城県田尻さくら高等学校	989-4308	大崎市田尻沼部字中新堀137番地	0229(39)1051
宮城県東松島高等学校	981-0503	東松島市矢本字上河戸16	0225(82)9211
仙台市立仙台大志高等学校	983-0842	仙台市宮城野区五輪1丁目4番10号	022(257)0986
宮城県美田園高等学校	981-1217	名取市美田園二丁目1番地の4	022(784)3572

※1 定時制課程を併置している高等学校

※2 宮城県大河原産業高等学校と宮城県柴田農林高等学校 川崎校の出願先住所は同一であるが、出願書類については、出願先高等学校ごと、別々に送付すること